

介護・福祉ロボット開発・普及支援プロジェクト検討会

1. 趣旨

高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加や介護期間の長期化など、介護ニーズはますます増大しているが、その一方で介護人材の不足が問題として挙げられている。この現状を補う一手段として、科学技術の応用、すなわちロボットの効果的な利用が考えられ、一部の企業では開発が進んでいる。しかし工学的・臨床的安全性の確認方法が確立していない等の理由により、医療・介護現場で使用できる段階に至っていないのが現状である。

この現状を早急に改善すべく、厚生労働省・経済産業省等が連携し、安全性の高い生活支援ロボット等の研究開発・実用化を促進するため、企業や介護関係者等の意見交換を行う等、新成長戦略の実現に寄与する事を目的とし、開催する。

2. 検討課題

- ・平成 23 年度概算要求について
- ・新成長戦略について、具体的な施策の構築と連携の在り方について

(参考)新成長戦略(抜粋)

安全性が高く優れた日本発の革新的な医薬品、医療・介護技術の研究開発を推進する。(中略)ものづくり技術を活用した高齢者用パーソナルモビリティ、医療・介護ロボット等の研究開発・実用化を促進する。(後略)

(早期実施事項(2010 年度に実施する事項))

- ・高齢者用パーソナルモビリティ(個人用移動装置)の公道使用の検討開始

(2011 年に実施すべき事項)

- ・生活支援ロボットの基本安全性・評価手法の確立
- ・安全性の確立したものについての普及策の検討

(2013 年までに実施すべき事項)

- ・開発状況に応じた個別の安全基準及び認証体系、普及策の実施